



## THE対談

大前智也×坂本カオリ

今回は、10月より開講する、スタンツ「1歳児クラス」・通称「桃帽子」について、スタンツベテラン講師！昨年度担任であった坂本カオリ先生に、スタンツ7年目・大前智也が取材させていただきました！

「桃帽子」いよいよ始まるよー♪

**大前** それでは、よろしくお願いします！カオリ先生とは、スタンツや、子ども達についてお話することがありますが、桃帽子についてお話するのは初めてですね！

**坂本** こちらこそ、よろしくお願いします！そうですね、桃帽子に関しては初めてだね♪何でも聞いてくださいね♪

**大前** まずは桃帽子の概要について教えてください。

**坂本** 桃帽子は、2020年の10月から第1期生として始まりまして、10月1日時点で満2歳になっている子ども達が対象です。つまり、最近まで1歳だった子ども達と、野外・自然の中で活動する教室です。この10月から、第2期生がスタートとなります！

**大前** 昨年から開講した桃帽子ですが、発足したキッカケはありますか？

**坂本** そうですね。今までのスタンツといえば、2歳児クラスからということで、2歳のお誕生日を迎えた後の4月から、通う子が多いですね。ただ、もっと早くから「自然遊びを経験させほしい」という声を、たくさんのママからいただき、私自身の「月齢が低い時期こそ自然遊びを、スタンツを経験させたい」という想いもリンクして、昨年開講ということとなりました♪

**大前** 熱いカオリ先生の想いから始まった桃帽子ですが、第1期生を終えての感想を教えてください！

**坂本** 私達担任にとっても、桃帽子の子ども達にとっても、半年早く大冒険させようと勇気を持って送り出してくれた保護者様にとっても、もの凄く充実感があった半年間でしたね！最初の頃の子ども達は、初めての環境に慣れるまで泣けちゃったりするんですが、一気に自然遊びの楽しさというものを分かってくれて、私が想像していた以上に、子ども達の成長が早かったですね♪その成長を、ママ達も手取るように分かるということで、本当にご家族と子ども、私達担任が一緒になって「幸せな気持ち」を共有できたことが、何より嬉しかったです♪

**大前** 子ども達だけでなく、保護者の皆さんと心を通わせる。とっても素敵ですね♪第1期生の子ども達は、現在2歳児クラスに通っていますが、桃帽子での経験を思い切り自然の中で体現してくれているのが嬉しいですね！

**大前** では、次の質問です。スタンツで一番月齢が低い桃帽子ですが、気を付けていることや配慮などはありますか？

**坂本** 2歳になったばかりの子ども達ですから、その子達の、心と体の成長というのを大事にして、自然の中で思い切り遊ばせる！そして、子ども達一人ひとりを見る・認めてあげる！というところですね！そして、何より大切なのがスキンシップ♪手を繋いであげる、抱っこしてあげるなど、

子ども達にしっかりと愛情が伝わるように意識していますね！

**大前** 桃帽子だけじゃなく、今言われたことは、上の学年の子ども達と関わる上でも大切ですよ！改めて、僕も大切にしたいと感じました。

**大前** では最後に、いよいよ桃帽子・第2期生がスタートしますが、きっとお子様以上にドキドキされている保護者の皆様へ、メッセージをお願いします！

**坂本** はい！半年早く、勇気を出して大切なお子様を送り出してくださったことに、感謝と敬意を抱いております。そのご期待に答えるべく、こちら心を入れてお子様を大切に、大切に！可愛がってあげたいと思います。どうぞ、よろしくお願いします！

**大前** カオリ先生、ありがとうございます。今年の桃帽子も、充実した半年になりそうですね♪

保護者の皆様！期待と不安でドキドキかと思いますが、必ず皆様にとって「桃帽子に入れて良かった」と、感じていただけるはずですよ！ご期待ください！

**坂本** こちらこそ！ありがとうございます！そうですね♪ご期待ください！

**大前** あっ！最後の最後に、今年度の桃帽子の男の先生に、意気込みを聞いておきましょう♪

**大前** おーい！まさやせんせい！

**村瀬** はーい！今年度、桃帽子の担任となりました「村瀬まさや」と申します。よろしくお願いします！

子ども達にとって初めてのスタンツ。泣けちゃっても大丈夫です！できなくても大丈夫です！でっかいでっかい愛情で、子ども達を包み込みます♪体を思い切り動かし、たくさんの自然と触れ合い、全身でスタンツを感じてもらえる活動を行っていきます！

**大前** とっても気合いが伝わってきたよ！桃帽子のこと頼んだよ！

**村瀬** お任せください！

カオリ先生との対談を終えて、実は、この記事に書ききれないほどの、スタンツに対する熱い思いや、子ども達に対する愛情もお聞きすることができました。改めて、スタンツって素敵、自然って素敵、子どもって可愛いなと思いました♪

10月から会える桃帽子さん！会えるのを楽しみにしているよ！！初めの一步は大きな一步！智也先生も応援しています♪



左：大前智也（スタンツオレンジ帽子担任）  
中央：村瀬雅弥（スタンツ桃帽子兼赤帽子担任） 右：坂本カオリ（スタンツフリー担任）

## 酒向先生が 子どもの「今」を見つめる

### 自立への第一歩



今年度、オレンジ帽子（2歳児クラス）の担任をしております、酒向玲奈（れいな先生）です！担任の先生になって、初めての長期休暇明け。1年目の先生だからこそ、ちょっとした子どもの成長がとても大きく感じます。

「ひさしぶり！せんせいげんきだった？」と、大人顔負けの挨拶をする子（年長）／バスに乗ってきた小さい子に、「ここにすわっていいよ！」と、自ら教えてあげる子（年中）／お部屋の入り口で、「おはよう！」と、元気いっぱい挨拶してくれる子（2歳）

子どもたちの何気ない一言から、また一歩大きくなったなあ。特に、月齢が低ければ低いほど、その成長は大きく感じます。2歳児クラスでは、一学期の頃は、会話をすると「うん」「まま・ぱぱ」「（自分の名前）」でお話をしてくれていた子が、久しぶりの登園で、「（名前）も、ぶどう！」「ママ、おほしさま、つくった」などと、2語文、3語文でお話をしてくれる姿を見られるようになり、とても温かい気持ちになりました。また、「自分で靴を履く！」「自分で着替える！」など、【自分で〇〇】という姿が多く見受けられました。「自分で〇〇」という気持ちは、自立の第一歩。出来なくなったら良いのです！たとえ、形が不格好であれ、挑戦することや、挑戦しようとするその姿勢が大切です。

1か月ほどのお休みの間に、パパやママのたっぶりの愛情を受けた子どもたちは、自発的にそのような姿勢を持ち、それを伝えてくれるほどまで大きくなりました。

2学期は、遊びのフィールドが川から原っぱ、そして山へと季節と共に移り変わっていきます。

スタンプでは、たくさん体を使って季節を感じ、いきいきのびのびでっかい子になれるよう、全力でサポートしていきます。そして、子どもたちの更なる成長・自立への一歩を、パパやママとたくさん共有していきたいと思っています。

## 佐藤が 思う！

### 「遊び」と「学び」は一对！

#### 『インプット』と『アウトプット』



暑い夏も終わりに近づいて来ましたね。生き物探しや飛び込み、ただ流されるだけでも楽しい川の中では、子ども達の笑顔が最高に輝いていました。秋になると、遊ぶ場所は川から原っぱへ変わり、また子ども達の新しい冒険が始まります。

さて、私は、スタンプ小学校の企画・運営に携わり、毎月『校長新聞』を発行させていただいています。この校長新聞では、スタンプ小学校の出来事や、私自身の気付きや思いについて執筆しております。4月から始めてちょうど半年が過ぎましたが、毎月楽しみながら書かせていただいています。書くこと（アウトプット）が決まっていると、活動や日常生活に対する気付き（インプット）の質も変わってきます。子ども達の中でも、絵日記を書いている子がいて、何度か見させてもらったことがあるのですが、その日遊んだことや新しく出来たこと、学んだことを書いていたのが印象的でした。この場合も、アウトプットの場所が決まっているからこそ、その日の出来事（インプット）を振り返り、それが自己肯定感に繋がっているのかなと思います。

私は、趣味がキャンプでソロキャンプをするのですが、焚き火をしながらボーッとする時間も、「星が綺麗だな！」「普段星を見る機会って少ないな」「なんで少ないんだろう？」「夜外に出てゆっくりする時間が無いからかな」など、自分への問いと答えを繰り返したりしています。環境を変えることでちょっとした事に気がつけるようになったり、普段考えないことを考えたりもできるので、アウトプットの仕方に悩んだらまずは環境を変えると、インプットの質も変わるのでおすすめです。

子どもの頃は特に、出来た・楽しかった・凄かったなど、感情が豊かで、日常に溢れる情報を脳に取り込んでいきます。アウトプットする場所を決めておくだけで、インプットの質や自己肯定感に繋がっていくので、我々大人たちは、子ども達へアウトプットする場所を用意するように心がけていきたいですね。

## あず あず が遊びで育む ココロとカラダ



コロナ禍でおうち時間も増え、子どもと一緒にいる時間が増えてきました。

毎日、朝ごはんが終わったら、昼ごはんのメニューを考えて…。昼ごはんを食べながら晩ごはんのことを考えるルーティーン。笑笑っちゃうけど、これが現実です。

こういう生活をしていると『本当に子どもと向き合えているのかな？』と思いがちになってしまいますが…。

子どもたちは、お家の中でもしっかりと学びや愛情を受け取る瞬間があるようです。

まず、おうち時間が多いので、親子の触れ合いの機会は増えてきているかと思えます。直接的な肌と肌の触れ合いは、ホルモンの分泌を促し、脳への刺激ともなるので、子どもにも親にも安心感と幸福感を与えてくれます。

逆に、おうち時間が多いことで、親もワーッと感情で怒ってしまうことも多くなりがちですよね。そんな時は、3秒息を吸って、その後子どもをぎゅーって抱きしめながら息を吐いてあげると、オキシトシンというホルモンが、少しイライラも落ち着かせてくれるなんて研究結果も出ていますよ。

1日5秒でもいいから親子でハグをする。

そうすると、自然と親子の笑みも多くなるかもしれません。

コロナ禍でなかなか自由に遊べない日が続いていますが、親子のココロの健康のためにも、少しだけカラダに触れたスキンシップを取り入れてみてはいかがでしょうか。

ベビーマッサージタッチケアセラピスト  
産後ケアリスト、小児経路アドバイザー

## 川合がお届けする

### 「センター」×「わくわく」＝？

#### センターの夏休み！



皆さん、長い夏休みはいかがお過ごしでしたでしょうか。センターでは、夏休みの期間もサマーワークや、日帰りのイベントなどを開催していました。そんな日々を過ごしていると、毎年保護者の方から「先生たちはいつ休んでいるの？」とご質問をいただきますが、夏休みはしっかりとあります！笑

そんな今年の夏休み、とっても驚きの嬉しい出来事が！それは、私自身が1年目の頃に担任をしていた子どもから、久しぶりに連絡をいただきました。担任をしていたのが2歳児の頃なので、今は中学1年生。もう中学生か、と驚きながら、学校での出来事や部活動の話、好きな映画の話まで、たくさんのお話をさせていただきました。10年前のスタンプでの出来事もたくさん覚えているようで、当時の活動での思い出を話してくれました。自分自身も1年目だったこともあり、当時の記憶や、その子との思い出も鮮明に覚えています。実は、野童をはじめたきっかけもこの子との何気ない会話から生まれたものでした！

他にもスタンプ卒業後も、スタンプ小学校の教室やDo囉塾のお手伝いなど、様々な形でセンターに関わってくれる子どもたちがたくさんいます。

Do囉塾のお手伝いに来てくれている中学生の男の子も、2歳児からの長いお付き合いになります。当時はとにかくよく遊び、よく泣く子でした。あの頃の豪快な泣き姿、今でも鮮明に覚えています。そんな子が今では、スタンプでの経験や楽しかった思い出を、先輩という立場で小学生にたくさん伝えてくれています。年少～年長児までの3年間を担任していた、現在小学3年生の子どもたちは、今でもドッジボールくらぶに在籍し、チームをまとめ様々な大会で活躍してくれています。

そんな姿を今でも近くで見守り、あの頃と変わらぬ関係性で楽しめている環境を、とても幸せに感じると同時に、彼らの人生に長く携われていることに大きなやり甲斐を感じています。そして、そんな子どもたちが少しでも集まって、園庭でB B Qができるようなくらぶを発足したいなとも思いました。卒業生の方々お待ちしております！笑

